



**OIS 大阪府インテリア設計士協会**  
 〒541-0059 大阪市中央区博労町1-6-14  
 TEL.06-6262-1488 FAX.06-6262-1553  
 URL <http://www.jp-interior.or.jp/>  
 E-mail [ois@jp-interior.or.jp](mailto:ois@jp-interior.or.jp)

編集スタッフ  
 千田・筒井・野口・下垣・奥田  
 柴田・田原・森・山田



(関宿) 玉屋

**OIS総会**  
 OIS総会は、4月23日大阪南港ATC 10階交流サロンで開催。平成16年度事業・決算と年度事業案・予算案が40人の出席者によって審議・承認され、無事終了した。続いて『プロから学ぼう現場のトラブル

解決法』のテーマで理事3人筒井氏・梅田氏・今西氏が司会千田氏と掛合いトーク。  
 場所を移して「ビュッフェ左近」の飲み放題食べ放題は若者に好評で、手作り作品オークションも、場をおおいに盛り上げた。  
 (柴田・記)

## SSS第39期通常総会名古屋大会

インテリア設計士協会通常総会が、愛知県名古屋市で5月14日(土)に開催された。SSS役員による理事会が行われた後、総会で今年退かれる役員の功労への表賞と、新役員の選出が行われた。  
 交流パーティーでは、地元伝統芸として尾張万歳が演じられた。尾張万歳は、新年に家々を回り祝い言を述べて鼓や太鼓に合わせてこっけいな踊りや掛け合いをする、漫才の原型の一つである。各支部の会員紹介では、それぞれ支部活動を楽しく報告・PR、個々でも旧交を温めたり新たな出会いがありと大いに盛り上がった。  
 翌日15日(日)は「愛・地球博」会場へ。人気パビリオンは別としても、皆かなりたくさんパビリオンをゆっくり見ることができたようである。会員の手がけたパビリオンの資料を総会場で展示されていたので、より興味深く見ることができた。  
 関西から近いようで通り過ぎてしまいがちな名古屋だが見るべき所の多いことを知った。  
 今年は空港開港と「愛・地球博」が重なることで名古屋の勢いのよさが実感できた。  
 (田原・記)

## 本部SSSの役員改選



OIS会長・足田 友一

足田OIS会長が本部SSSの副会長に  
 5月14日に名古屋・栄マルベリーホテルで行われた本部SSS第39期通常総会の任期満了に伴う役員の改選で、OIS足田友一会長が本部副会長に、また、宮後浩副会長が常任理事に昇格・就任した。その他の主な役員人事は次のとおり。

- 会 長：植田益夫(大阪)
- 副 会 長：門田和巳(広島) 足田友一(大阪) 石田康世(兵庫)
- 専務理事：中島伸雄(大阪)
- 常任理事：椿 恭二(大阪) 宮後 浩(大阪) 具嶋利昭(福岡)
- 森 元(長崎) 中原順平(愛知) 須藤秀晴(宮城)
- 宮崎紀子(京都) 新庄 隆(富山) 橋本康志(京都)
- 中島重光(東京)
- 理 事：奥田忠彦(大阪) =以下省略=
- 監 事：野口桂三(京都) 高木 喬(大阪)

## 見学記 関宿

4月24日、KIS主催の見学バスツアーに、OISからも6人が参加した。  
 「関宿」は、東海道五十三次の江戸から数えて47番目の宿場町として、参勤交代や伊勢参りの人々でにぎわったところである。現在、旧東海道の宿場町のほとんどが旧態をとどめない中において、唯一歴史的な街並みが残ることから、昭和59年、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている。  
 宿場の範囲は、東西追分の間1.8キロメートル、25メートルに及び、江戸時代から明治にかけて建てられた古い町家200軒あまりが残っている。  
 まず「鈴鹿伝統産業会館」で、鈴鹿の伝統産業、主に伊勢型紙について



鈴鹿伝統産業会館



伊勢型紙体験作品

でのVTRを見た後、伊勢型紙によるしおり作りを体験した。既に数種のデザインが施された紙をカッターナイフで切り抜くといつこく単純な作業であったが、手作業の楽しさを味わった。同会館には複雑極まりない作品が展示されていた。  
 目的の「関宿」では、関宿旅籠玉屋歴史資料館と関まちなみ資料館を見学した後、古い町家が並び街道筋の散策を楽しんだ。  
 玉屋は「関で泊まるなら鶴屋玉屋、まども泊まるなら津屋か」と謡われたほどの関宿を代表する大旅籠の一つで、江戸時代に建てられた貴重な旅籠建築に、当時使われた道具類や庶民の旅に関する歴史資料などを展示し、往時を偲ばせていた。(奥田・記)



街道

# 座談会

## 理事さん大いに語る

### OISをいかにして盛り上げるべきか



「おいでやす〜」の声に迎えられて上がったお座敷から眺める庭の造りもはんなりと。

ここはJR京都駅から約15分「宿屋 枳殻荘」。座談会の出席者は、

正田OIS会長・千田副会長・今西常任理事(検定)・柴田常任理事(広報)・田原理事(広報)・山田理事(広報)の6名。



正田OIS会長

柴田：本日はお暑い中お集り頂きありがとうございます。それではこれからのOISについて語り合ってもらいましょう。先日の設計士資格試験ですが、大阪の受験者数が減っているそうですね。

正田：かつて大阪はトップを誇っていたのですが、最近は京都・愛知・宮城・東京が増えていますね。特に東京は各学校へ説明に回ったり、担当の先生を1級に認定申請するなど、増員に大変努力しているようです。

千田：大阪でもやりましょう！

正田：受験校数では大阪はいつもトップで今年も13校。協会のレベルアップを考えると1級を増やす必要もあります。SSS本部として会員増強に取り組んでいこうと思っています。



千田OIS副会長

今西：今回の合格率はどうだったんですか？

正田：学科は平均点が81点とかなり高く、80%以上が合格です。受験生がよく勉強してくれたからでしょう。実技の方は最高点が70点とあまり良い作品がなく、ほとんどが合否ラインギリギリの65点でした。

今西：この頃の学生はCADばかりだから手が動かないんじゃないんですか？

正田：2日間行っている試験を1日にしたらという意見も出ているのですが、

他協会の試験に比べて実技の内容が充実しています。がんばって勉強したら確実に実力がつきます。これからもこのスタイルは守りたいと考えています。



今西常任理事

今西：設計士協会の仕事は理事達がほとんどボランティアでやっているけれど、自分の仕事を持っている立場からすると実際動くのに制限があります。事務局に専属で動いてくれるスタッフが欲しいです。

正田：大阪は他の支部に比べて事業数は多く一番活動している。ただ大阪には本部の機能も兼ねているから大変だけど、知名度アップの広報活動、例えばホームページの充実や設計士が企業の資格手当の対象になるよう働きかけるなどSSS本部としてやることは人材と予算を使って努力しなければいけないと思っています。

今西：僕の知っている家具職人が研修生を集めるために全国の学校を回って講習会をあちこちでやっているけれど効果あるらしいですよ。うちの協会でも説明会や講習会をやったらどうですか？

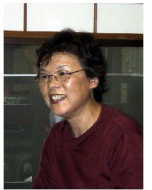
正田：やりましょう！今年中にまず学校の先生に集まってもらって、受験のポイントなど当協会の内容説明をする機会を作ります。

田原：ところで「インテリア設計士」ってなんですか？とよく尋ねられるんですけど・・・。何ができる資格なのか若い人はピンときていないようですが・・・。

正田： **インテリア設計士とは『インテリア空間ならびにインテリアエレメントの設計・製造・施工・監理のできる資格を持った人』**

これを忘れないで伝えて欲しいと思います。

千田：今、世の中にはいろんな資格が増えてきて、皆迷っていると思います。設計士の資格を取った若い人達に社会で何をやっていけるか方向を示してあげる必要性はあるでしょうね。設計士の勉強をがんばったら表現力はつくし、基礎知識もできてインテリアやっていくすごくいいチャンスだと伝えたいですね。



柴田常任理事

正田：インテリアの仕事は何から何まで全て何でも出来ないといけない。昔の建築設計士はインテリアまで全てを設計したが、今ではインテリアが分からない人が多い。ここに我々設計士の活躍の場があるのです。

千田：会員が困った時など協会のいろんな業種の人とのつながりが心強い味方になると思いますよ。

今西：若い人には体験やふれあいをもっと増やしてほしいですね。



田原理事

**人を通して実際の物が教われるのがこの協会の強みですからね。**

山田：私も困った時相談しましたし、よく助けてもらいました。現場では人と人の付き合いが大事ですものね。

田原：会員1人1人のことが判りにくいですよ。どんな人がいるのか、聞きたくても聞けずに困ることもあるのではないのでしょうか。

柴田：その意味でも〈葉知利書〉は会員同士知るきっかけになる内容にする役目があると考えています。

正田：協会の大きな事業のひとつ、テキストの出版も急いでいるところです。実技編はすでに出版され教科書として使われ始めていますが、学科編は今年中には完成予定です。これを広報・啓蒙活動の手段としてインテリア業界のボトムアップに生かしていきたいと思っています。

千田：良い事業を企画するにはお金のバックアップが欲しいですね。

**インテリア設計士協会として受験・講座・啓蒙のコンセプト作りを早急にやらないといけない。**



山田理事

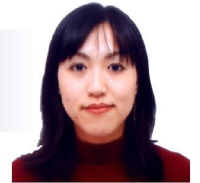
正田会長やりましょうよ！みなさん協力して下さいね。

(まとめ / 柴田 写真 / 山田)

# 青年部コーナー

## 住んでみよう！ カナダ！！

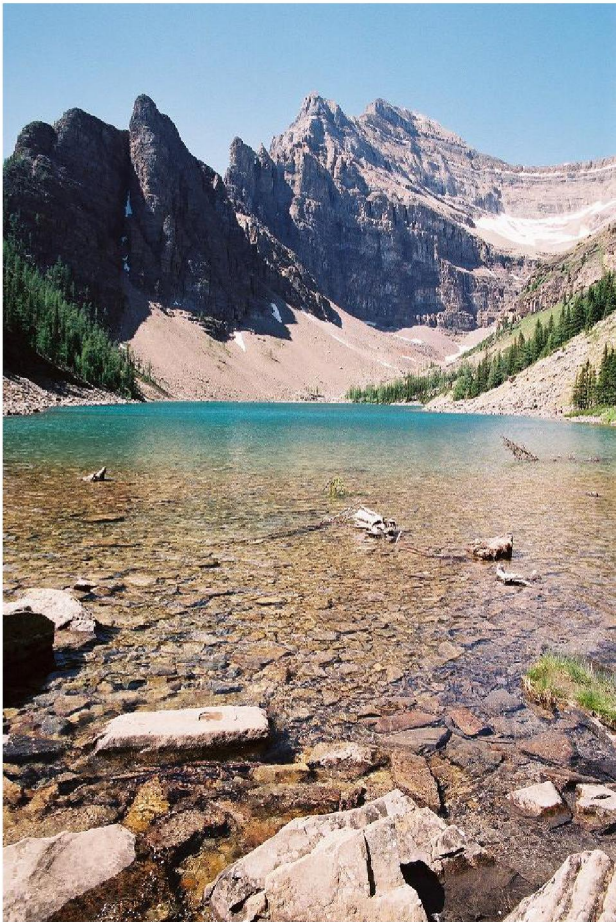
青年部 From.Canada / カナダ標準の住宅事情レポート



青年部  
伊藤優美子

カナダのこと、ご存じですか？ アメリカと似たような感じだと思います？ ホントはすごく違うんですよ。色々取り上げるとたくさんあるんですが、そういうことは他の資料の方が詳しくて正確なので、そちらをご覧ください。ただ、ここでは私の視点からのカナダの建築・インテリアを取り上げてみたいと思います。あくまで主観です。であしからず（笑）。

まず今回は、「カナダの標準の住宅事情」を紹介していこうと思います。



Lake Agnes

### 【用語説明】

#### カナダ

アパートメント(apartment)  
コンドミニアム(condominium)

マンション(mansion)  
シェアハウス/ルーム(share house/room)  
メインフロアー(main floor)  
ベースメントフロアー(basement floor)  
バチェラースイート(bachelor suite)  
1ベッドルームスイート(1BR suite)  
ベースメントスイート(basement suite)

#### 日本

賃貸マンション  
分譲マンション あるいは、  
ハイクラスの賃貸マンション  
屋敷・豪邸  
一軒の家/部屋を数人で住む事  
一階  
地階  
1ルームマンション  
1L・D・Kのマンション  
地階にある居住空間

### 【標準の住宅】

・ベッドルーム	3~5室
・リビングルーム	1~2室
・キッチン	1~2室
・バスルーム（シャワーユニット含）	1~3カ所
・ランドリー（共用）	1カ所
・ガレージ（リモコンシャッター付）	2台分
・庭	

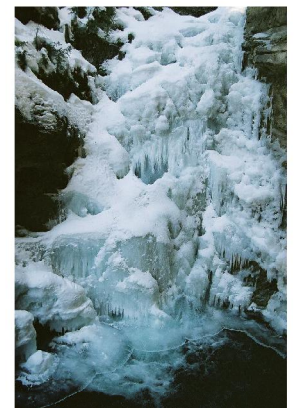
一軒家を上下の二戸に分けたり、一部屋単位で貸し出したりするのは一般的です。

### 【標準のアパートメント】

- ・1~2ベッドルーム+L・D・K+納戸
- ・冷蔵庫（備え付け）
- ・コインランドリー
- ・ジム・プール付
- ・地下ガレージ
- ・家賃は暖房+水道+光熱費込み

カナダの人々は、一カ所に定住することにこだわっていないので、家の売買や引越も盛んです。移動しやすいように、アパートメントに冷蔵庫・ランドリーの備え付けを標準としているのではないかと感じたりもしています。

ただ、こちらは日当たりが重要視されていません。マンションでは、建物の半分は北向きの部屋だったり、ベースメントは半地下ならマシですが、部屋の上の方に10cm程度の窓しかない場合もあります。寒いんだからもっと日当たりを求めてもいいような気もしますが、冬は日照時間が短いから大して違いがないのか、夏は日差しがキツイからなのか、とにかく住人はあまり気にしていないようです。これも文化の違いなのでしょう。



Jonston Canyon

いかがでしたか？ 今回は導入ということで、大まかにまとめてみました。次回はもう少し的を絞って日本との違いを見つけてみたいと思います。

・・・それでは！ カナダ・カルガリーよりのレポートでした。

青年部主催

## パース教室が開かれました

6月19日(日)にコラムデザインセンターにて青年部主催のパース教室が開かれました。



講師の宮後副会長

パース教室に参加して

私はまだ学生でパースのことはほとんど知らず、パースは難しいものと思っていました。宮後先生のお話と実技指導のおかげで「パースは簡単や〜」と思わせて下さいました。目の前でサラサラと描いて見せて下さるので、筆の使い方・色の出し方など役立つことがいっぱいありました。

でも本当はもっと奥が深いんだろうなと感じた4時間でした。

宮後先生、ありがとうございました。

(専門学校生K子さん)

### 和風講座

### 鴻池新田会所跡

# 講座とお茶会

## ご案内

日時：9月19日(日)  
午後1~4時 現地集合

場所：鴻池新田会所  
東大阪市鴻池元町2-30  
Tel06-6745-6409

アクセス：JR学研都市線「鴻池新田」下車 徒歩5分  
(所要時間は京橋から約20分)  
駐車場無し

参加費：800円(入場料300円・資料茶代500円)  
学生特別割引 400円

定員：30名(希望者多数  
の場合は抽選)



建物の見学後、居宅座敷でお茶会をします。その後、高木常任理事と修復を担当された金剛組の山本氏・中山氏から新田開発や修復時の興味深いお話を伺います。  
(自慢のお茶碗を持っておられる方は御持参下さい。)

鴻池新田会所：昨年の講座「加賀屋新田会所」と同様に大阪府下に現存する、もつひとつの会所である。

300年前に大阪の豪商鴻池家によって新田開発され、二百町の最大規模を誇っていた。本屋をはじめ屋敷蔵・道具蔵・米蔵・文書蔵が重要文化財に指定されている。



- ①チトセのスタッキングチェア10脚とキャリアー
- ②インテリア専門雑誌「室内」のバックナンバー2003~2004年版

OIS事務局へ取りに来て下さる方に限ります。先着順。事務局までご連絡下さい。

### 賛助会員紹介

空間・家具から、環境へ。



## 高島屋スペースクリエイツ株式会社

T's CREATE

### 本社所在地および大阪事務所の移転

- 本社 東京都中央区日本橋茅場町2-12-7
- 大阪事務所 大阪市浪速区日本橋3-5-25高島屋東別館  
TEL. 06-6632-3190 (コントラクト)  
TEL. 06-6632-3190 (商環境)

### Solution Business 事業内容

ヒトが集い、憩う。  
すべての空間が私たちのビジネスフィールドです。



開発目的に合致した空間を創る際のポイントはコンサルティングや企画から設計施工、メンテナンスに至るまで、事業コンセプトに基づき、一貫した取り組みをおこなうことです。

私ども高島屋スペースクリエイツは、クライアントのご要望に対して、多彩なノウハウと豊富な経験をベースに、的確かつ迅速なサービスをご提供致します。

### 企画提案業務のご案内

緻密なマーケティング活動から、トータルに空間をプランニングしてゆきます。

### 商業施設開発への取組

高島屋グループのノウハウをベースにこれからの商業施設づくりをリードします。

### ものづくりへのこだわり

伝統あるモノづくりの実績と信頼であらゆる空間をクリエイト。

### Environment Policy 環境基本方針

私達が育てた森があります。高島屋スペースクリエイツの森  
高島屋スペースクリエイツは、「地球にやさしい、人にやさしい企業」として環境問題への取り組みを経営の重要課題のひとつと位置付け、良き企業市民としての責務を果たして参ります。

<http://www.ts-create.jp/>

## 葉知利書ロゴ募集!

応募方法：OIS事務局へ、下記いずれかの方法で9月30日までに送って下さい。

- ①ケント紙に手書き《郵送》《持参》
- ②イラストレーター(8以下)のデータ(文字にはアウトラインをかけること)《メール》《郵送》《持参》

ロゴ中に「葉知利書」の漢字4字を入れる事。理事の厳正な審査により、採用されたロゴは、題字として2年間使用します。但し、一部修正を加える場合があります。入賞作にはお礼をさしあげます。